

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事		平成24年 7月31日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府福知山市長田野町1丁目29番地		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社 浅田可鍛鉄所 代表取締役社長 浅田康史
環境マネジメントシステムの名称	ISO 14001:2004	
適用範囲	本社工場及び三和工場(福知山市三和町)	
導入年月日	2001年 11月18日	
認証番号	JAERO292	
基本方針	1. 環境関連の法令・条例・協定を遵守する 2. 自主的に目的・目標を掲げ目標達成のために努力する 3. 事業活動が環境に影響を及ぼさないよう継続的改善に努力する 1) 資源・エネルギーの節減に努める 2) 発生する廃棄物の削減とリサイクル化に努める 3) システムの改善を図り、環境汚染の予防に努める 4. 従業員の環境保全意識と改善能力の向上を目指す	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	1. 電力原単位の前年比1%の改善 2. 廃棄物排出量の前年度比10%削減、その他、社長が作成する会社方針(個別目標あり)による	
目標を達成するための取組の内容	省エネについては、昨年度見送った空気圧縮機の更新を進める、また、工程内不良が前年度よりも増えているので、その対策に取り組む。廃棄物排出量については、生産量の増加により、簡単に削減は、難しいが、集塵機の粉塵は、その飛散を抑える混練機を取り付けたので、必要以上の水分を抑えることにより、重量の削減を期待している。その他社長が作成する会社方針を基に、部課長(プロジェクトリーダー)が各自の目標を落とし込んだプログラムを作成し、その取組を進める。	
目標を達成するための取組の進捗状況	部課長(プロジェクトリーダー)がプログラムを作成し、その取組を進め、定期的(年2回)にそのフォローを実施、また、内部監査がそのフォローまでに実施され、この時点でもプログラムの進捗確認が実施される	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	毎年年度末にその時点のデータ及び内部監査の結果を基に管理責任者がまとめ、社長へ報告し、社長からの指示により次年度へ展開する形を取っている。今年度は特に見直しは必要ないとのことであった	
事業活動に係る法令の遵守の状況	主に内部監査において、遵守状況の確認が行われ、年度末にも総務課において、状況まとめが行われる	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	前項の「目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価」に同じ	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。